



ロランド・B・パブロス テキサス州務長官略歴

セントメアリー大学卒

テキサス大学サンアントニオ校経営大学院にて経営学修士号取得

ヒューストン大学コンラッド・N・ヒルトン・カレッジ・オブ・ホテル&レストラン・マネジメントにて修士号取得

セントメアリー大学法科大学院にて法務博士号を取得、2000年からテキサス州弁護士会会員

2017年1月にテキサス州政府の行政実務の最高責任者である第111代テキサス州務長官に就任(現職)、またテキサス州憲法の規定により構成される州政府最高執行部6名の1人

テキサス州最高選挙管理責任者としての役割に加えて、メキシコ担当上級顧問および渉外担当、最高国際渉外責任者を兼任

テキサス州への投資誘致のために戦略的に地域資源を活用することの重要性を熟知している、経済開発のエキスパートであり、公私両面において、世界中のテキサス州のパートナーとの直接投資、国際関係、貿易の推進に重要な役割を果たしている。また、北米市場における製造業の統合と、米国・カナダ・メキシコの国境を越えた協力を強く提唱している。スペインの名誉領事でもあり、テキサス州とスペインの間におけるビジネスと外交関係の発展に寄与してきた。

地域社会の繁栄にも深く関わり、多数の非営利団体や州政府委員会などを通じた、公共サービスと教育の充実に力を注いでいる。地域の発展に向けたこれら多くの取り組みは、人々の生活の質を向上させ、教育機会を提供し、テキサス州の人々に繁栄をもたらしている。

家族構成： 妻 (Dr. Laura San Martin) 子4人

オースティン市在住